

第1回名立区地域協議会 次第

日時：令和5年4月17日（月） 午後6時30分から
場所：名立区総合事務所 2階 第2会議室

1 開 会

2 報告事項

(1) 令和5年度名立区の主な事業について …資料 No. 1

(2) 名立の子どもを守り育む会の事業評価について …資料 No. 2

3 協議事項

(1) ろばた館利活用検討会（仮称）について …資料 No. 3

4 その他事項

5 閉 会

令和5年度 名立区の主な事業

資料No. 1

(事業費 単位:千円)

| 番号 | 事業名 | 主な事業内容 | 概算事業費等 |
|----|------------------|--|---------------------------------|
| 1 | 総合事務所管理費 | 総合事務所の適正な維持管理 | 11,379 |
| 2 | 総合事務所整備事業 | トイレ改修修繕工事・駐車場舗装修繕工事 | 2,086 |
| 3 | 地域独自の予算事業 | 地域の課題解決や活力向上に向けた事業に必要な経費を実施団体に支援（名立区の魅力を創造し発信する事業他8事業） | 2,636 |
| 4 | 地域振興事業 | 名立まつり、名立・北御牧交流事業の支援 | 646 |
| 5 | 鳥獣保護管理事業 | 住宅地周辺でのクマやイノシシの目撃件数が増加傾向にあることから、出没を抑制するための緩衝帯の整備 | 草刈業務委託料 3,409千円のうち |
| 6 | 風力発電施設管理事業 | 稼働を停止した風力発電施設について安全確保をするために撤去（うみてらす名立風力発電所のブレード・タワー等の設備を撤去等） | 99,242 |
| 7 | ろばた館管理運営費 | 施設の維持管理及び運営 | 25,629 (地域独自の予算 113千円を含む) |
| 8 | 林道大町鉢畑線整備事業 | 用地測量・用地調査、用地取得・物件補償 林道開設工事（L=145m、W=4.0m） | 88,031 |
| 9 | 既設林道維持管理事業 | 林道の除草・清掃等管理（林道南葉山線、爪原線等） 林道維持工事（林道小田島線復旧工事） | 11,262 |
| 10 | 橋梁維持費 | 修繕工事：前田橋（能生丸線）・折居橋（峠折居線） 実施設計委託：池田橋（川東線） | 67,188 |
| 11 | 道路維持事業 | 名立区内の市道82kmの維持管理 （地下歩道清掃、維持管理委託、道路・側溝等修繕） 災害防止対策工事1件、市道外側線の計画的修繕 | 33,267 |
| 12 | うみてらす名立管理運営事業 | 施設の管理運営 施設整備工事等（健康交流館・地場物産館冷温水発生設備更新、自動火災報知機設備受信機更新等） | 144,125 |
| 13 | シーサイドパーク名立管理運営事業 | 施設の管理運営 施設改修工事等（トイレ洋式化等改修、給水ポンプ入替） 備品購入（ボブスレースレッド購入） | 19,993 |
| 14 | 観光施設等整備事業 | 観光施設の安全安心な利用に向けた整備 （不動山登山道整備に係る経費等） | 290 |
| 15 | スクールバス等運行事業 | 宝田小学校スクールバス（市営バス）2台の運行管理 | 19,991 |
| 16 | 中学校市単独事業 | 名立中廊下床改修工事、用務員室エアコン設備工事、給食室 蛍光灯設置工事 | 工事請負費 75,895千円のうち |
| 17 | 公民館管理運営費 | 公民館分館2施設の運営・維持管理 | 15,663 |
| 18 | 地域支え合い事業 | 通いの場、介護予防事業を行うことにより高齢者の支え合い体制の構築 | 名立まちづくり協議 会委託事業 |

名立の子どもを守り育む会 令和4年度事業の報告及び評価について

■活動方針

- 1 会の活動について
 - (1) 会の目的に基づいた活動が円滑に行えるよう取り組む。
 - (2) 会の存在と意義を多くの市民から認知してもらえよう、いろいろな媒体や機会等を捉え、積極的にPRを行う。
- 2 開催事業について
 - (1) 学校・地域・家庭が連携をとりながら活動できる体制づくりを目指す。
 - (2) 地域全体で子どもたちを「守り育む」活動ができるよう取り組むとともに、大人も地域へ参画する機会を提供していく。

■コロナ禍に伴う対応等

会の活動は新しい生活様式等を遵守しながら、子どもたちのために事業を実施するとともに、あわせて、「新たな形」での活動も検討していく。

■事業実施状況

評価 A：達成 B：概ね達成 C：達成したが見直しが必要 D：未達成

| 区分 (規約から) | 事業項目 | 目的 | 実施状況 | 自己評価(成果)並びに今後の課題 | 評価委員評価 |
|--------------|-------------------------------|--|--|---|---|
| 会議等 | 総会 | 総会の場において、事業実績及び計画を承認いただく。 | 令和4年4月23日(土) 15:00～ 名立地区公民館 | | |
| | 運営委員会、班別検討会、幹事会 | 事業の企画を行うとともに、その運営を図る。 | ■運営委員会 第1回：令和4年6月15日(火) 18:30～ 名立地区公民館 ※班別の活動も 第2回：令和4年11月24日(木) 18:30～ 名立地区公民館 ※班別の活動も 第3回：令和5年3月29日(木) | | |
| | 評価委員会 | 会の1年間の活動全般を検証・評価していただくことで、次年度以降の活動の改善・充実につなげる。 ※評価委員名簿(順不同、敬称略) 名立区地域協議会委員より4名選出 小林 晴子、二宮 香里、畑 芳雄、草間照光 | 令和5年3月20日(月) 18:30～ 名立区総合事務所 | | |
| ①ふるさと伝承 | 北御牧・名立フレンドシップ！ 海と山の交流会 | 両地域の子どもの共同活動を通して、両地区の交流と心豊かでたくましい子どもたちの育成を図る。 また、保護者や地域の方々からも、事業に協力いただくことで、活動の趣旨や目的を理解してもらう。 ※平成11年11月11日に長野県北御牧村(現東御市)と友好親善協約を締結し、市町村合併後の平成17年度から当交流会を開催している。 | ■海の交流会 令和4年7月23日(土)・24日(日) ※コロナ禍のため中止 ■山の交流会 令和4年8月27日(土)・28日(日) ※コロナ禍のため中止 ■代替事業(共催：名立地区公民館、名立・北御牧友好協会) 「旬の食材を贈り合い、子ども達に食べてもらう」 ・贈呈品 名立：タコ 17kg 北御牧：トウモロコシ 150本 ・学校給食日 名立区：令和4年9月1日(木)、北御牧地区：令和4年10月7日(金) ・給食メニュー 名立：蒸したトウモロコシ 北御牧：タコ飯 ・その他 子どもたちが感謝の気持ちと食べた感想を手紙などにして交換し交流した。 | 【自己評価：B】 【成果】 ・コロナ禍により、今年度も、両地区での交流会を中止とした。このため、昨年度に引き続き、両地区の旬な食材を贈り合い、小中学校の給食で提供し合うこととした。 ・僅かながらも交流活動を継続させることで、子どもたちに改めて両地区の魅力を知ってもらうとともに、交流活動の再開を見通す機会となった。 ・食材の交換だけでなく、食べた感想や感謝の気持ちを手紙など、子どもたちの絆と友好都市の絆を再び結ぶことができた。 【課題】 昨今の衛生対策により令和5年度は引き続き、実際に両地区交流会を行う準備を進めている。 | 【評価：自己評価に同じ】 【評価委員のコメントなど】 ぜひ今年は交流ができることを期待している。 |
| | 「平和を守る活動」を通じた子どもたちへの歴史・文化等の継承 | 名立機雷爆発事件をはじめとする名立区の過去に起きた事件や災害を子どもたちに継承することで、平和の尊さを考える機会とする。 ※「名立・平和を願う日」実行委員会では、平成27年3月29日に名立機雷爆発事件が起きた3月30日を「名立・平和を願う日」と宣言している。 | ■「名立・平和を願う日」第1班会議・実行委員会 令和5年2月8日(水) 18:00～ 名立地区公民館 ・事業内容の確認、役割分担など ■「名立・平和を願う日」パネル展 ・期間 令和5年3月1日(水)～3月11日(土) ・会場 うみてらす名立ゆらら通路 ・内容 名立機雷爆発事件等の資料展示 ■第9回「名立・平和を願う日」 令和5年3月12日(日) 会場：名立地区公民館 ○テーマ「広島平和記念資料館の取組」 ・講演 広島平和記念資料館 副館長 豆谷 利宏氏 ・参加者80名 ■「名立・平和を願う日」供養活動 令和5年3月30日(木) 会場：宗龍寺ほか ・名立機雷爆発事件や名立崩れ犠牲者の供養、「名立・平和を願う日」宣言文の読上げ ・名立機雷爆発事件の発生地や平和を守る碑周辺の清掃 | 【自己評価：A】 【成果】 ・今年度も、コロナ禍の中、感染症防止対策を講じながら記念事業を開催した。 ・平和式典に派遣される中学校の子供たちだけでなく活動を中核となる私たち大人も、広島の平和活動から学ぼうと広島資料館職員から講演いただいた。 ・来賓参加の市長をはじめ多くの参加者に広島市の取組を紹介し、被爆地の平和への取組を学習した。 ・ウクライナ侵攻で世界平和への危機感が広がる中、参加者の関心は高く、予定時間を超えて活発な質疑応答が交わされた。 ・講演に加え、ぜひ資料館へ訪問したいという意見が、質疑やアンケートなどにも多くあらわれ、一層の平和意識醸成に寄与したものととらえている。 【課題】 名立区内で起きた様々な歴史的な事実を風化させないために、引き続き関係団体と連携し、効果的な事業内容を検討していく必要がある。 | 【評価：自己評価に同じ】 【評価委員のコメントなど】 ・拝見したがとてもよい講演であった。 ・名立の平和活動は地域の枠を超えて成長している。 ・広島に行ってみたく思った。 ・会長の感想で「もっと子供たちが来てくれると思った」。同じ思いである。さらなる工夫を期待したい。 |
| | 「ふるさと」の伝統・文化等の伝承 | 地域の伝統行事の実態を把握し、子どもたちが積極的に参加できるよう、調整や検討を行う。 | ■名立地区公民館と連携し、区内芸能保存会の活動の活性化や歴史・文化の継承活動に努めた。 ■名立区公民館まつりへの出演依頼及び練習への支援等 | 公民館まつりへの参加呼びかけ 令和4年11月5日(土)・6日(日) | 【自己評価：B】 【成果】 ・コロナ禍の中、感染症防止対策を講じながら名立区公民館まつりを開催した。 ・作品発表会とステージ発表会の他に、中学校文化部から作品の展示をいただき、さらに発表団体の体験講座(和太鼓、三味線 コーラス体験)と、同時開催したふれあい講座(コーヒー体験、ボードゲームコーナー)にも、積極的に参加する機会となり、多くの子どもたちが地域の伝統や文化に触れてもらう機会をつくることができた。 【課題】 ステージ発表会の参加者・団体が固定化・減少化しているため、参加を促す施策が必要である。 |

■事業実施状況

評価 A：達成 B：概ね達成 C：達成したが見直しが必要 D：未達成

| 区分 (規約から) | 事業項目 | 目的 | 実施状況 | 自己評価（成果）並びに今後の課題 | 評価委員評価 |
|--------------|-------------------|--|---|---|--|
| ②学校教育活動等の支援 | 職場体験事業への支援 | 中学生が行う『上越「ゆめ」チャレンジ事業』の実施にあたり、その目的の実現を図るために支援を行う。 | コロナ禍のため市内各中学校で中止になる中、名立中学校2年生の職場体験は、夏休みに、期間を短縮しながらも開催し、生徒全員が参加した。 実施期間：令和4年7月26日（火）～7月28日（木） | 【自己評価：－】 【成果】－ 【課題】－ | － |
| | コミュニティ・スクールの推進 | 平成24年度から導入されたコミュニティ・スクールを推進し、小中学校の教育活動を地域と共に進める。 | <ul style="list-style-type: none"> ■育む会から、小・中合同学校運営協議会委員を選出した。 ■学校経営方針等を承認し、その方針に基づいた学校運営状況について評価した。 <ul style="list-style-type: none"> ○学校運営協議会委員 名立区町内会長協議会会長、主任児童委員、名立まちづくり協議会役員 名立の子どもを守り育む会会長、上越教育大学元教授、名立たちばな保育園長 地域コーディネーター、名立区総合事務所教育・文化グループ長 宝田小学校：校長、PTA会長 名立中学校：校長、PTA会長 ○運営協議会 第1回：令和4年6月16日（木） 第2回：令和4年10月28日（金） 第3回：令和5年2月20日（月） ■学校と連携した教育活動 <ul style="list-style-type: none"> ○公民館事業「夢輝いて 演劇プロジェクト」背景画作成 ○令和5年1月24日（火）、石井会長が、宝田小4年生の農業水路学習において講師を務めた。 ○コミュニティスクール推進の一環として、宝田小学校大運動会に、記念品（鉛筆）を贈呈した。 | <p>【自己評価：A】</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍ではあったが、当会が母体となった学校運営協議会を中心に、学校、地域、家庭が連携し、年間を通して事業を進めることができた。 ・学校の各種教育活動に委員がかかわることで、その充実を図ることができた。 ・不動地区のイベントや公民館事業に連携するなど子供たちとともに地域の催しを通じて青少年だけでなく、かかわる会員もともに学び、成長することに寄与した。 <p>【課題】</p> <p>地域の行事や地域貢献など、より地域とともにある学校づくりについて、さらに検討する必要がある。</p> | <p>【評価：自己評価に同じ】</p> <p>【評価委員のコメントなど】 特になし</p> |
| | 地域の課題解決に向けた取組への参加 | 地域活動や地域生活の課題を考え、解決するにはどうすればよいのか、考える機会を提供する。 ふるさと上越に愛着をもつ人を育てるとともに、地域の担い手を育てる。 | <ul style="list-style-type: none"> ■生徒会との打合せ コロナ禍のため中止 ■名立中学校地域貢献活動 <ul style="list-style-type: none"> 第1回：令和4年5月19日（木）シーサイドパーク名立の整備活動 第2回：令和4年7月8日（金）海岸清掃活動 第3回：令和4年10月13日（木）福祉・公共施設の清掃活動 ■地域青少年まちづくりワークショップ実践事例発表及び意見交換会 コロナ禍のため中止 ■地域青少年まちづくりワークショップ地域発表会 コロナ禍のため中止 | <p>【自己評価：B】</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍により、今年度も主要事業は中止しなければならなかったが、中学校生徒会による「地域貢献活動」は実施されたことから、運営委員も参加し、生徒と協力しながら活動を行うことができた。 ・駅やバス停、海岸の清掃活動と、花の苗をうみてらす名立や総合事務所などに配布する事業は実施でき、地域がより明るく元気になる活動となった。 <p>【課題】</p> <p>中学校が地域を思い、地域が中学校・中学生を思い合い地域の課題を解決する事業を、さらに検討していく</p> | <p>【評価：自己評価に同じ】</p> <p>【評価委員のコメントなど】 ・中学校の子どもたちからは頑張ってもらっている。 ・引き続き故郷への想いを繋げていってほしい。</p> |
| | メディアコントロールの普及 | ゲームやインターネット等の正しく効果的な使い方を、子どもたちだけでなくその家族や地域住民に普及し、生活習慣の改善等を目指す。 | <ul style="list-style-type: none"> ■情報モラル講演会 令和5年1月30日（月） 名立中学校 ※新1年生入学説明会と同日開催 <ul style="list-style-type: none"> ・講師 県上越教育事務所 指導主事 倉又佳宏 氏 ・演題 「情報メディアと上手につきあうために」 ・参加 宝田小学校6年児童・保護者・教職員・当会運営委員など 40名 ■アウトメディア週間 <ul style="list-style-type: none"> ○小学校・中学校が連携した取組週間 令和4年5月30日（月）～6月6日（月） 令和4年11月11日（金）～11月17日（木） 令和5年2月8日（水）～2月14日（火） | <p>【事項評価：A】</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報モラル講演会では、情報化が進む中で起きた事件などの映像を実際に見ながら解説があり、SNSのメリット（人や世界を繋ぐ、幸せにする）とデメリット（いじめ・健康問題）の理解が図られた。また、関連する人権についての課題もお話もしていただき、とても有意義な時間となった。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メディア教育は、学校と家庭の連携が必要不可欠であり、当会もその「結節点」として、引き続き関わっていく必要がある。 ・学校からの要望と連携し、スケジュールや規模などもさらに精査すりあわせてメディアへの適切な関係を構築する助けをすすめる。 | <p>【評価：自己評価に同じ】</p> <p>【評価委員のコメントなど】 特になし</p> |
| ③家庭での子育て支援 | 『教育ハンドブック』の配布 | 学校教育活動の意義、名立区の歴史・地勢・環境などを周知し、日常の子育てに役立てる。 | 「名立区教育ハンドブック」を宝田小学校新1年生に配布した。 | <p>【自己評価：A】</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配布することにより、名立の歴史や文化について知識を深める機会を提供することができた。 ・また、小中学校にも配布し、地域学習に活用していただいた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・掲載内容について、定期的に更新する必要がある。 ・また、学校教育でより活用してもらえるように、異動教職員への説明の機会を設けるなど、小中学校とさらなる活用を検討していく必要がある。 | <p>【評価：自己評価に同じ】</p> <p>【評価委員のコメントなど】 特になし</p> |
| ④安全・安心の確保 | 子どもたちの安全・安心の確保 | 子どもたちが安全で安心して生活し通学できる環境を、地域全体で確保する。 | <ul style="list-style-type: none"> ■「夏季安全点検」・「こども110番の家点検」調査活動 令和4年7月12日（火） ○名立区防犯協議会と合同で、名立区内の遊具や施設、バス停の安全点検及びこども110番の家点検（対応マニュアルの有無や看板等の確認）を実施した。 ・参加者11名 ・点検箇所 遊具や施設、バス停 区内一円40か所、こども110番の家 区内一円19か所 ■「下校時における子どもたちの見守り活動」 令和5年2月27日（月） ○一斉下校日にあわせて、北部を中心に、生徒が安全に帰宅できるよう立哨及び引率を行い見守るとともに、環境点検活動を実施した。 ・参加者6名 | <p>【自己評価：A】</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名立区防犯協議会と合同で開催することで、円滑に、かつ効率良く実施することができた。また、遊具等の不備箇所については、関係機関へ改善要望を行った。「こども110番の家」については、適宜、看板や対応マニュアルの交換対応を行い、より良い環境を整備できるよう取り組むことができた。 ・子どもたちの見守り活動は、下校時間が薄暗くなる時期を狙って実施し、改めて交通安全等の課題を把握することができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も名立区防犯協議会と連携し活動を継続し、安全・安心の高揚を図ることが必要である。 ・今年度も大型鳥獣の出没があったことから、より一層地域ぐるみで、子どもたちの見守りができるよう活動の工夫が必要である。 | <p>【評価：自己評価に同じ】</p> <p>【評価委員のコメントなど】 特になし</p> |

■事業実施状況

評価 A：達成 B：概ね達成 C：達成したが見直しが必要 D：未達成

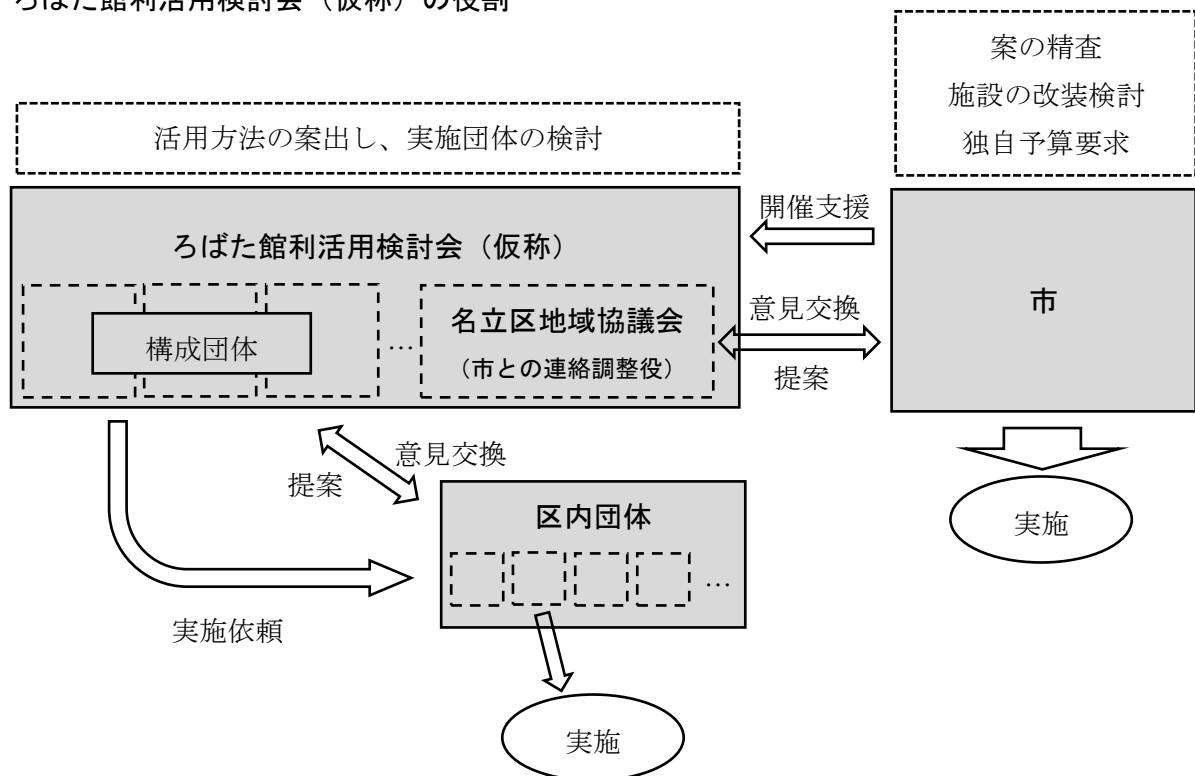
| 区分 (規約から) | 事業項目 | 目的 | 実施状況 | 自己評価（成果）並びに今後の課題 | 評価委員評価 |
|-----------------|--------------------------|---|---|--|---|
| ⑤団体等への 提言・支援 | 子どもたちの企画・運営活動への 提言・支援 | 地域イベントの企画・運営に子どもたちが携 わることで、毎日生活する地域に関心を持 ち、自分たちで考えて行動する力を養い、 「ふるさと」に対する愛着の醸成を図る。 | ※名立まつりおよび前夜祭への参加呼びかけ 令和4年8月7日（日） 上名立地区前夜祭 令和4年8月14日（日） 名立北地区、下名立地区前夜祭 令和4年8月15日（月） 不動地区前夜祭 令和4年8月20日（土）・21日（日） 名立まつり | 【自己評価：B】 【成果】 ・本年は新型コロナウイルスへの対策を行ったうえで各地区での前夜祭を実施し た。再開となった各地区のイベントには児童生徒が多数参加し、地域の催しを 十分に楽しんだ。 【課題】 まずはイベントの実施を各地区が模索しており、子供たちの企画運営により一層 の推進をすすめていく。 | 【評価:A】 【評価委員のコメントなど】 各まつりなどで子どもたちの 参加や活動は積極的であ り、子どもの意識が地域に根 付いている。もっと評価して いい |
| ⑥連絡調整・情報 交換等 | ニュースレター発行 | ニュースレターを発行し、名立区内外に当会 の活動状況を周知する。 | ■ニュースレターを発行し、名立区内外に配布した。各900部 第1号：令和4年6月25日 第2号：令和4年11月25日 第3号：令和5年1月25日 第4号：令和5年3月25日 | 【自己評価：B】 【成果】 ・昨年度に比べ、ニュースレターの発行回数を増やした。（2回→4回） 【課題】 定期的な発行とともに、事業の周知だけでなく、参加者の感想や記事の投稿も受 け入れ活用するなど、内容を充実させ、に「読んでもらう」工夫を行う。 | 【評価：自己評価に同じ】 【評価委員のコメントなど】 特になし |
| ⑦その他 | 「あいさつ活動」の普及 | 「あいさつ活動」を通して、明るい・活気あ る地域づくりを目指す。 | ■宝田小学校 ①毎朝 登校直後に各教室を分担してまわり、朝のあいさつを行った。 ②学年ごとに2か月に1回実施 全校児童が主体となってあいさつを行い、感想をランチタイムで発表した。小中学校が同 じ週に行うことで意識の向上を図った。小学校の玄関であいさつ交流を実施した。 ■名立中学校 名立中学校バス停前において、日替わりで部活単位や学年単位等により、バス停前を通る車 や歩行者へのあいさつを行った。 2学期の取り組みでは小学校と中学校を相互訪問し相互交流も図った。 ①令和4年6月15日（水）～17日（金） ②令和4年10月26日（水）～4日（金）小中学校合同 ■育む会・小中学校合同あいさつ運動 令和4年11月1日（火）宝田小学校 令和4年11月2日（水）名立中学校 ・当会参加者12名 | 【自己評価：B】 【成果】 ・小中学校と連携し活動することにより、子どもたちによる明るく元気なあいさ つ活動が定着化している。 ・また、令和元年度「上越市地域青少年育成会協議会設立10周年記念一斉あ いさつ運動」を契機として、今年度も子どもたちと運営委員と一緒に、 あいさつ活動を行うことができた。 ・昨年までの課題を見直し、本年は小学校と中学校を児童生徒がお互いに訪問す る対応を行った。中学生生徒は懐かしい母校で後輩たちに挨拶運動を指導し、 小学校児童は中学校校舎を訪問して先輩の挨拶運動や学校生活を体験する機会 となった。 【課題】 学校の運動期間に対し、委員の参画できる期日は少なかった。 | 【評価：A】 【評価委員のコメントなど】 ・道端で子どもたちにすれ 違っても、ちゃんとあいさつ してくれることに驚いてい る。 ・このような活動の積み重ね が大事だと思う。 |

ろばた館利活用検討会（仮称）について（案）

1 目的

ろばた館利活用検討会（仮称）は、関係する団体で構成し、意見の交換並びに必要な連携を図り、ろばた館が名立区における地域活性化及び中山間地域振興の中心施設となる利活用の方向性や必要な整備について検討し、利活用策の実施につなげることを目的とする。

2 ろばた館利活用検討会（仮称）の役割



3 ろばた館利活用検討会（仮称）の構成団体（案）

○構成のポイント

- ・実働ができる又は関われる団体
→活用方法の実行につなげやすい
- ・ろばた館近隣の団体
→継続して活用しやすい

※意見の出しやすい環境とするため、少人数による座談会形式で検討する。

○構成団体（案）

| 団体名 | |
|-------------|-------------|
| ・名立まちづくり協議会 | ・上名立地区振興協議会 |
| ・名立加工グループの会 | ・名立区農業振興協議会 |
| ・(株)ゆめ企画名立 | ・名立区地域協議会 |
| (オブザーバー) 市 | |

※構成団体は会議の進行の過程で追加可能

ろばた館・上名立分館活用状況

1 ろばた館

○地域活動等への活用実績（令和4年度）

| 日にち | 内容 | 実施団体等 | 備考 |
|--------------------------|---------------------|-------------------------------|----------|
| 8月7日（日） | 上名立夏祭り | 上名立地区振興協議会 | 名立まつり前夜祭 |
| 9月25日（日） | 総合避難訓練 | 上名立地区振興協議会 | |
| 10月17日（月） | 名立区敬老祝賀会 | 名立まちづくり協議会 （市委託事業） | |
| 10月23日（月） ～11月3日（木・祝） | ふるさと上名立フォトコ ンテスト | 名立区総合事務所 | 公民館事業 |
| 11月3日（木・祝） | 名立区駅伝競走大会 | 名立体育協会 | 中継地点の一つ |
| 11月14日（月） | 高齢者ふれあい交流会 | 名立区住民福祉会 | |
| 1月22日（日） | もちつきと獅子舞の演舞 | 折平芸能保存会 輝く里不動の会 （市委託事業） | |
| 2月6日（月） ～3月12日（日） | お雛さま巡り | 名立まちづくり協議会 | 設置会場の一つ |
| 2月19日（日） | 春のそば打ち体験 | 深雪加工グループ （市委託事業） | |
| 2月25日（土） | 灯の回廊に併せたキャン ドル設置 | 上名立地区振興協議会 | |
| （月1回程度） | うまいもん市 | 名立加工グループの会 | |
| （随時） | いきいきサロン | すずめの会・喜楽会 | |
| （随時） | 老人クラブ活動 | 長生会 | |
| （随時） | 花壇整備 | 長生会 | |

2 名立地区公民館上名立分館

○地域活動等への活用実績（令和3年度※）

※令和4年度は梁修繕により2階が使用できない期間があったため、令和3年度を参考。

| 日にち | 内容 | 実施団体等 |
|-----------|--------------|------------|
| 10月9日（土） | 草木染講座（公民館事業） | 名立区総合事務所 |
| 11月14日（日） | ボッチャ大会練習会 | 上名立地区振興協議会 |